

農場だより

第8号

平成23年5月31日



田植え、大豆まきが終わったと一息ついていたら、今年は早い梅雨入りになりました。田植え後の稲は、葉の緑が濃くなってきて元気に生育しています。農道には、シロツメ草がきれいに咲いています。



5月の農場作業レポート

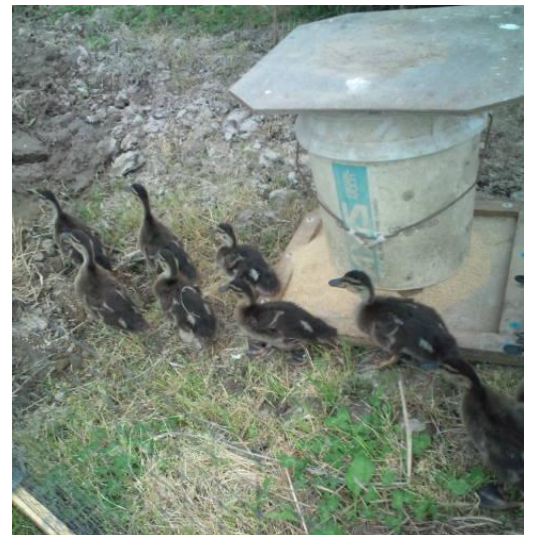
4月23日から始めて、ちょうど一カ月後の5月23日に今年の田植えが無事終わりました。田植えは、乗用型の田植え機で8列(8条)をあっという間に植え付けてくれます。

そうは言っても、天候の悪い日の田植えはとても大変ですが、今年は田植え前の田んぼの準備が本当に大仕事だと感じました。田んぼの肥料まき、耕運、用水を入れてからの土の荒ごわし、稲の植付け前の代かきと、トラクター4台フル稼働で100枚以上の田んぼを植付けました。

そして田植え後は、よく見る風景かと思いますが、田植え機でうまく植え付けられなかったところに人の手で植付け(補植)し、ちょうど田んぼの中の除草を終えたところです。

農場ニュース

今年も農場では、有機栽培(無農薬・無化学肥料)・マガモ農法のお米を育てています。5月27日(金)から有機栽培の田んぼに、マガモのひな鳥が140羽来ました。生後3週間位です。マガモが大きくなって、飛び始めるまでの約1ヶ月間、田んぼで除草作業のお手伝いをしてもらいます。有機栽培の田んぼは、柏崎市東原町の榊太田材木店さんの向かいです。国道8号線を長岡に向かい、良食生活館を過ぎたら原町交差点を右へ曲がってください。良かったら、マガモを見に来て下さい。



6月「農場応援隊」お手伝い作業予定

農場の作業(農業体験)1回2~3時間に来ていただくと、米山農場のイベントに使える500円のクーポン券を進呈いたします。全国でも、応援隊募集をしているのは、米山農場だけです。クーポンは次回のイベント、7月3日(日)の毎年恒例じゃがいも掘り体験で使えますよ。
・・・500円で5kgのじゃがいもを掘りとれます。

6月中旬	園芸;玉ねぎの収穫
------	-----------

その他にも、カモの田んぼの除草など、体験してみたいことがありましたら、リクエストください。日程も、みなさんの予定と相談させていただきます。ご家族やお友達とぜひ遊びに来て下さい。

お問い合わせ [TEL:0120-24-2557](tel:0120-24-2557)

田植え体験イベント

5月29日(日)、雨の日になりましたが今年で2回目の田植え体験イベントを行いました。今年、今では珍しくなった歩行型の田植え機を同じ部落の方にお借りして、スタッフも一緒に田植え体験をしました。歩行型は、4列(4条)植えられるタイプのもので、実際に田んぼの中を歩くのでとても疲れしました。しかし、その田植え機の植付けの音に併せて歩く姿は、何か和やかな感じがしました。農場特製の甘酒・赤飯・漬物で休憩後、手植え体験もしてもらいイベント終了になりました。



農場からのお知らせ

23年産お米の年間予約申込み締切りは、8月10日です。年間予約いただくと、割引があります。また、お客様よりお知り合いの方を新規にご紹介いただくと、23年産のもち米で作った切り餅の詰め合わせ、または柏崎新道産のおけさ柿をプレゼントします。毎日食べるごはんは、ぜひ米山農場でご利用ください。柏崎市・刈羽村内は、配達もいたします。

米子の気になるレシピ

柏崎では、毎年6月13・14・15日にたくさんの露店の並び、えんま市が行われます。そこで人気なのが、県内でも新潟市で始まったといわれる、ポップ焼き。これはいか焼きでなく、甘くてふわふわとしたお菓子です。焼いている風景が、蒸気が上がって汽車のようだからということで、名付けられたそうです。くせになるおいしさ、ぜひお試しください。

材料(2~3人分)・薄力粉 120g・黒糖 60g・重曹 3g・水 130g

- ① 水に黒糖を入れ火にかけて溶かし、完全に冷めるまで置く。
- ② 薄力粉と重曹を混ぜた中に、①の黒糖液を入れ泡だて器で良く混ぜる。
- ③ 油を薄く敷いたフライパン(卵焼き用の四角いものの方が、形が近いです。)に、生地を流し入れ、弱火でホットケーキを作る要領で焼く。
- ④ 裏もひっくり返して焼く。
- ③' 190℃で予熱したオーブンで、15~20分で焼いてもいいです。鉄板にオーブンシートを敷き、生地を6mm位の厚さに流し込んでください。
- ⑤ 焼き上がったら、棒状に切って出来上がり。

「ポップ焼き」

